

小平市史料集 近現代編 第五集 小平の近現代基礎史料

目次

第一章 村の維新

第一節 地方制度と地租改正

- 一 村役人制度の変化
- 二 地方制度と組合村
- 三 地租改正と地域の由緒

第二節 文明化と地域

- 一 徴兵制の施行
- 二 地域のまなびと教育
- 三 伝染病と医療の近代化

第三節 茶業の隆盛と玉川銀行

- 一 先義会社への参加
- 二 茶業組合の結成
- 三 国盛社と玉川銀行
- 四 共進会への参加

第二章 小平村の成立

第一節 小平村の誕生と北多摩郡正義派

- 一 小平村の誕生
- 二 北多摩郡正義派と小平
- 三 東京府移管問題

第二節 川越鉄道の建設と農会の組織化

- 一 川越鉄道の建設
- 二 茶業組合・蚕糸業組合をめぐる動き
- 三 大日本農会北多摩支会と小平村農会

第三節 日清・日露戦争と軍事郵便

- 一 日清戦争後の書簡群
- 二 日露戦争期の軍事郵便

第四節 諸団体と青年

- 一 青年の組織化
- 二 銃後の支え
- 三 村の安全

#### 四 生産の支え合い

### 第三章 小平村と学園開発

#### 第一節 小平の養蚕

- 一 小平村養蚕実行組合
- 二 小平村革新養蚕実行組合

#### 第二節 小平の煙草販売

#### 第三節 学園開発

- 一 明治大学の移転計画
- 二 東京商科大学予科
- 三 女子英学塾

### 第四章 戦時下の小平と学園

#### 第一節 小平村農会

#### 第二節 小売業と戦時統制

- 一 小平村商業報国会と物資配給
- 二 小平村酒類商組合

#### 第三節 戦争と大学・学園

- 一 東京商科大学予科
- 二 津田英学塾

#### 第四節 町制施行

### 第五章 小平町の戦後復興

#### 第一節 軍関連施設の跡地利用

- 一 陸軍経理学校跡地の払下げ
- 二 転用後の施設

#### 第二節 農地の移動と移転施設

- 一 農地をめぐる対策
- 二 移転施設

#### 第三節 小平町の農業と恵泉女子農芸専門学校

- 一 小平町の農業
- 二 恵泉女子農芸専門学校

#### 第四節 町村合併の動き

#### 第五節 工場・研究所の進出

- 一 ブリヂストーンタイヤ東京工場
  - 二 日立製作所トランジスタ研究所
- 第六節 小平町の国民健康保険

## 第六章 郊外都市への変貌

### 第一節 市制施行と長期総合計画

#### 一 市制施行

#### 二 小平市長期総合計画

### 第二節 農業環境の変化

#### 一 小平市農業近代化計画

#### 二 恵泉女学園短期大学園芸生活科の転出

### 第三節 工場と小平市

#### 一 ブリヂストーンタイヤ東京工場

#### 二 日立製作所武蔵工場

### 第四節 小平市の商工業

#### 一 小平商工会

#### 二 商店街

#### 三 大型店の進出

#### 四 小売店経営実態調査

### 第五節 小平の交通

#### 一 西武鉄道

#### 二 西武バス

### 第六節 小平市の医療・福祉

#### 一 小平市医師会

#### 二 小平市社会福祉協議会

#### 三 小平市民生・児童委員協議会

#### 四 あさやけ作業所

### 第七節 小平の地域意識

#### 一 小平郷土研究会

#### 二 小平市玉川上水を守る会

#### 三 清瀬高等学校の地域調査報告書

## 解題

## 収録史料と所蔵先

# 細目次

## 第一章 村の維新

### 第一節 地方制度と地租改正

#### 一 村役人制度の変化

- 1 村用掛補助撰挙書 一八七六（明治九）年六月一日
- 2 病氣御届〔戸長辞職願〕 一八七九（明治一二）年二月三日
- 3 〔小川新田他六カ村戸長准一七等官辞令〕 一八八四（明治一七）年七月一日

#### 二 地方制度と組合村

- 4 起立組合議定書 小川村外九カ村組合〔抄〕 一八七〇（明治三）年三月
- 5 寄場親村小川村二取極候願書写〔抄〕 一八七〇（明治三）年三月四日
- 6 御届書〔旧一一大区九小区扱所書籍仮移管に付き〕 一八七九（明治一二）年四月五日
- 7 戸長配置分離願〔抄〕 一八七九（明治一二）年一〇月二二日
- 8 北多摩郡回田新田村会議規則 年月日未詳

#### 三 地租改正と地域の由緒

- 9 再三歎願書 一八七八（明治一二）年九月二六日

### 第二節 文明化と地域

#### 一 徴兵制の施行

- 10 明治八年徴兵入営旅費明細表 一八七五（明治八）年四月三〇日

#### 二 地域のまなびと教育

- 11 約定書 一八七八（明治一二）年四月三〇日
- 12 〔私塾開業之件取調達〕 一八七八（明治一二）年一〇月九日
- 13 簡易小学願 一八七九（明治一二）年一〇月

#### 三 伝染病と医療の近代化

- 14 流行病施治ノ儀ニ付伺 年月日未詳
- 15 伺書〔コレラ病流行の徴に付き〕 年月日未詳

### 第三節 茶業の隆盛と玉川銀行

#### 一 先義会社への参加

- 16 先義会社願書并連印写〔抄〕 一八七三（明治六）年一月二九日
- 17 製茶願書 控〔抄〕 一八七四（明治七）年
- 18 製茶会社之儀ニ付御願 一八七四（明治七）年八月

#### 二 茶業組合の結成

- 19 請求書〔大日本中央茶業組合本部報告書配与に付き〕 一八八四（明治一七）年一月二日
- 20 〔部則会議に付き総代世話掛人数問い合わせ〕 一八八四（明治一七）年一月一六日
- 21 北多摩郡茶業組合第三号部申合仮規約書 一八八四（明治一七）年二月

- 22 〔神奈川県武蔵国北多摩郡茶業組合規約追加改正〕 一八八四（明治一七）年二月
- 23 〔茶業組合準則徹底の指示〕 一八八五（明治一八）年六月十五日
- 24 〔巡回の通知〕 一八八五（明治一八）年六月一六日
- 25 茶業組合取締所規約書認可願〔抄〕 一八八六（明治一九）年四月二日
- 三 国盛社と玉川銀行
- 26 金田貸附会社創業願写〔抄〕 一八七九（明治一二）年三月
- 27 資本金名寄簿〔抄〕 一八八一（明治一四）年二月
- 28 玉川銀行創立願並規則書〔抄〕 一八八二（明治一五）年九月四日
- 四 共進会への参加
- 29 〔共進会出品申告書に添付の茶業来歴〕 一八八三（明治一六）年
- 30 業務沿革及出品者ノ履歴 一八八七（明治二〇）年一〇月五日

## 第二章 小平村の成立

### 第一節 小平村の誕生と北多摩郡正義派

- 一 小平村の誕生
- 31 市区町村名ノ沿革〔抄〕 一九一八（大正七）年一月一日
- 32 〔村制施行までの〕沿革〔抄〕 一九四四（昭和一九）年
- 二 北多摩郡正義派と小平
- 33 〔懇親会準備に関する町田久五郎宛小野房次郎書簡〕 一八八八（明治二一）年八月三日
- 34 〔北多摩郡倶楽部の性格変更に関する吉野泰三宛並木喬平書簡〕 一八八九（明治二二）年六月二日
- 35 〔北多摩郡倶楽部の届け出に関する吉野泰三宛小野房次郎書簡〕 一八八九（明治二二）年七月二日
- 36 〔北多摩郡倶楽部の開設を伝える吉野泰三宛小野房次郎書簡〕 一八八九（明治二二）年八月二日
- 37 〔中村克昌の県議辞職に関する吉野泰三宛小野房次郎書簡〕 一八八九（明治二二）年八月九日
- 38 〔正義派解散に関する吉野泰三宛比留間雄亮書簡〕 一八九〇（明治二三）年七月一日
- 39 〔簿記学校での生活を伝える有田泰之助宛高橋忠輔書簡〕 一八九一（明治二四）年四月一日
- 40 〔皆成学校転校を伝える吉野泰三宛高橋忠輔書簡〕 一八九一（明治二四）年六月二九日
- 41 〔実業への転身を伝える吉野泰三宛小野房次郎書簡〕 一八九一（明治二四）年九月一六日
- 42 〔幹事会招集の有田泰之助宛正義青年会書簡〕 一八九二（明治二五）年一〇月二五日
- 43 〔退会者の確認を求める吉野泰三宛国民協会書簡〕 一八九三（明治二六）年
- 三 東京府移管問題
- 44 〔東京府移管への尽力を求める吉野泰三宛比留間雄亮書簡〕

- 45 〔郡制施行にともなう移管問題に関する吉野泰三宛比留間雄亮書簡〕  
一八八九（明治二二）年十一月二〇日  
一八九〇（明治二三）年八月八日

## 第二節 川越鉄道の建設と農会の組織化

### 一 川越鉄道の建設

- 46 委任状之事〔川越鉄道線路敷地売却〕  
一八九二（明治二五）年九月二九日  
47 意見書〔川越鉄道線路敷地買収〕  
一八九四（明治二七）年二月五日  
48 裁決書〔川越鉄道線路敷地買収〕  
一八九四（明治二七）年三月二二日

### 二 茶業組合・蚕糸業組合をめぐる動き

- 49 〔茶業組合に関する郡長訓令取消問題についての吉野泰三宛内野左衛門書簡〕

一八八八（明治二一）年三月一六日

- 50 〔農務局から蚕糸業組合への諮問〕

一八八八（明治二一）年二月三日

- 51 〔農務局からの諮問に対する〕答申案〔抄〕

一八八八（明治二一）年二月二六日

### 三 大日本農会北多摩支会と小平村農会

- 52 〔大日本農会幹事池田謙蔵による系統的品評会の提案 抄〕

一八九〇（明治二三）年八月

- 53 〔大日本農会北多摩支会の結成に付き書簡 抄〕

一八九一（明治二四）年四月二七日

- 54 〔豊蚕社設立祝の書状〕

一八九二（明治二五）年一月一六日

- 55 祝詞〔小平村立毛品評会褒賞授与式〕

一九〇七（明治四〇）年一月二八日

- 56 小平村農会規則認可

一八九八（明治三一）年一月一〇日

## 第三節 日清・日露戦争と軍事郵便

### 一 日清戦争後の書簡群

#### 〔村の様子〕

- 57 〔養蚕教事員として常陸国回りの件に付き書簡〕  
一八九七（明治三〇）年三月一七日  
58 〔マラリヤ病の様子伺い及び生糸小麦等相場に付き書簡〕  
一八九七（明治三〇）年七月二七日

- 59 〔小平村赤痢病流行に付き書簡〕  
一八九七（明治三〇）年八月一七日

#### 〔任地・台湾の様子〕

- 60 〔今年桑之相場並に養蚕之結果御報せ願いに付き書簡〕

一八九七（明治三〇）年六月七日

### 二 日露戦争期の軍事郵便

#### 〔村の様子〕

- 61 〔明治三七年度養蚕之景況等の報告〕  
一九〇四（明治三七）年七月二日  
62 〔秋蚕上簇及び宮寺君召集に付き書簡〕  
一九〇四（明治三七）年八月二五日  
63 〔貴殿妻安産並秋蚕大麦買上等の近況書簡〕  
一九〇四（明治三七）年九月七日  
64 〔九月一六日付軍事郵便拝誦及び写真送付状〕  
一九〇四（明治三七）年九月二三日  
65 〔陣中訪問の書状〕  
一九〇四（明治三七）年八月一日

〔戦地の様子〕

- 66 〔一九日より二四日迄の二〇三砲台攻撃様子の報告〕 一九〇四（明治三七）年九月二七日  
67 〔第四補充員の師岡安太郎君面会、自宅の様子承り報告〕 一九〇四（明治三七）年十一月二五日

第四節 諸団体と青年

一 青年の組織化

- 68 〔小平村回田青年会〕青年会々則 一九〇一（明治三四）年一月  
69 回田新田青年会会議録〔抄〕 一九一五（大正四）年  
〔一九二三（大正一二）年  
70 〔小平村青年会成立に伴い回田新田青年会を回田支部と改称することに付き〕祝辞 一九一九（大正八）年

二 銃後の支え

- 71 〔在郷軍人会小平分会〕沿革ノ大要〔抄〕 一九三〇（昭和五）年

三 村の安全

- 72 北多摩郡小平村字野中本通第一衛生組合規約 一八九八（明治三一）年九月  
73 〔野中新田与右衛門組〕消防組規約 一八九〇（明治二三）年二月三日  
74 〔小平村消防組〕沿革誌〔抄〕 一九二一（大正一〇）年  
四 生産の支え合い  
75 〔小平村信用購買組合〕大正五年度事業報告書〔抄〕 一九一七（大正六）年

## 第三章 小平村と学園開発

第一節 小平村の養蚕

一 小平村養蚕実行組合

- 76 北多摩郡町村別養蚕一覽 一九二三（大正一二）年八月五日  
77 〔北多摩郡〕養蚕実行組合設立状況 一九三一（昭和六）年一〇月二五日  
78 定〔農業日備貸金等〕 一九三三（昭和八）年八月  
79 生石灰申込調〔小平村養蚕実行組合〕 一九三四（昭和九）年

二 小平村革新養蚕実行組合

- 80 〔小平村革新〕養蚕組合事業成績 一九二八（昭和三）年一〇月  
81 小平村革新養蚕組合調査控 一九二九（昭和四）年度  
82 〔小平村革新養蚕組合〕収繭高並販売価格報告 一九三二（昭和七）年七月七日

第二節 小平の煙草販売

- 83 煙草販売官署及販売区域ニ関スル件〔抄〕 一九三一（昭和六）年六月二八日  
84 昭和九年度 煙草売渡実跡一覽表 小平煙草販売所〔抄〕 一九三四（昭和九）年度  
85 昭和十一年度事業成績書 小平煙草小売人組合 一九三七（昭和一二）年六月二五日

### 第三節 学園開発

- 一 明治大学の移転計画
  - 86 明治大学移転問題に付 校友及学生諸彦に懇ふ (一九二五(大正一四)年)
  - 87 明治大学国分寺移転問題〔抄〕 一九二五(大正一四)年九月一九日
  - 88 〔東京商科大学予科移転決定に際しての謝意〕 一九二七(昭和二)年四月二七日
- 一 東京商科大学予科
  - 89 御願〔箱根土地株式会社・小平村地主総代〕 一九二七(昭和二)年三月一〇日
  - 90 陳情書〔箱根土地株式会社・小平村長〕 一九二七(昭和二)年四月二日
  - 91 契約書〔東京商科大学・箱根土地株式会社 抄〕 一九二七(昭和二)年四月一三日
  - 92 覚書〔道路建設の保証 小平村長〕 一九二八(昭和三)年
  - 93 大学予科概要〔抄〕 一九三一(昭和六)年六月一五日
  - 94 多摩湖鉄道、停車場、停留所新設並廃止認可申請ニ関シ照会 一九三三(昭和八)年八月二三日
  - 95 小平新風景 一九三三(昭和八)年一〇月九日
  - 96 小平移転後の感想を聴く 予科生の率直な告白 一九三三(昭和八)年一〇月九日
- 三 女子英学塾
  - 97 塾のこのごろ 新校舎に移りて 一九三一(昭和六)年一月
  - 98 女子英学塾の近況 一九三七(昭和七)年

## 第四章 戦時下の小平と学園

### 第一節 小平村農会

99 〔昭和一一年度小平村農会収入・支出決算説明と事業報告書〕

一九三八(昭和一三)年三月  
一九三八(昭和一三)年三月

### 第二節 小売業と戦時統制

一 小平村商業報国会と物資配給

101 〔小平村商業報国会発会式の案内〕

一九四一(昭和一六)年一月二三日

102 家庭用石鹼配給ノ件

一九四二(昭和一七)年一〇月二日

二 小平村酒類商組合

103 〔小平村酒類商組合 酒類販売免許申し込みの案内〕

一九三八(昭和一三)年四月二日

104 〔小売店の営業時間と定休日を通知〕

一九三八(昭和一三)年一〇月一〇日

### 第三節 戦争と大学・学園

一 東京商科大学予科

105 予科生の熱演に観客思はず涙 又雨に降られたが 盛んだった記念祭

一九三七(昭和一二)年五月二四日



- 106 勤労奉仕強化 生徒も担ふ食糧増産の一翼 一九四一（昭和一六）年四月二五日
- 107 予科生の生活調査 一九四二（昭和一七）年三月二五日

一一 津田英学塾

〔津田英学塾青年会の活動〕

- 108 青年会報告〔村民の為の伝道会の開催〕 一九三七（昭和一二）年一二月二三日

〔慰問活動〕

- 109 〔出征軍人に送る靴下編み〕 一九三七（昭和一二）年一二月二三日
- 110 〔小平村の出征者四〇名に慰問金を贈る〕 一九四二（昭和一七）年八月一七日

〔託児所「津田こどもの家」〕

- 111 「津田こどもの家」開所式の報告 一九三九（昭和一四）年一月二三日
- 112 「津田こどもの家」のこの頃 一九四一（昭和一六）年八月三一日
- 113 「津田こどもの家」の近況 一九四三（昭和一八）年三月一日
- 114 津田子供の家 一九五六（昭和三一）年五月二〇日

〔学校工場〕

- 115 工場だより 一九四五（昭和二〇）年一月一五日
- 116 学校工場を顧みて 一九四五（昭和二〇）年一月一五日

第四節 町制施行

- 117 〔町制施行申請〕理由書 〔一九四三（昭和一八）年一二月二四日〕
- 118 村ヲ町ト為スノ義ニ付許可稟請 一九四四（昭和一九）年一月一五日
- 119 〔町制施行祝賀〕集会届 一九四四（昭和一九）年二月一〇日
- 120 式辞〔小平町長 小野熊太郎〕 一九四四（昭和一九）年二月一日
- 121 祝辞〔北多摩郡町村長会長 中野丑太郎〕 一九四四（昭和一九）年二月一日
- 122 答辞〔被表彰者代表〕 一九四四（昭和一九）年二月一日

## 第五章 小平町の戦後復興

### 第一節 軍関連施設の跡地利用

一 陸軍経理学校跡地の払下げ

- 123 〔小平町長・農業会長 軍用地払下げ〕嘆願書 一九四五（昭和二〇）年一〇月
- 124 軍用地御貸下並ニ払下請願書〔小平町長・農業会長〕 一九四五（昭和二〇）年二月
- 125 陸軍〔用地〕買収ニ係ル土地調査 一九四五（昭和二〇）年二月三日
- 126 請願書〔小川山家農事実行組合〕 一九四五（昭和二〇）年二月一〇日
- 127 国有土地一時使用許可申請書〔小平町長・農業会長〕 一九四五（昭和二〇）年二月二七日
- 128 元陸軍用地附属施設（建物）払下認可申請書〔小平町農業会長〕 年月日未詳
- 129 元陸軍其ノ他ノ諸施設面積 年月日未詳

- 130 軍用地御払下請願書〔堀野中農事実行組合〕 一九四六(昭和二一)年一月一〇日
- 131 元陸軍用地附属施設(建物)一時使用認可申請書〔小平町長・農業会長〕 一九四七(昭和二二)年五月
- 132 〔元陸軍施設の一部払下げの〕使用目的 年月日未詳
- 133 請願書〔小川山家耕作農民〕 一九四八(昭和二三)年九月一日
- 134 一 転用後の施設
  - 134 コント集”武蔵野漫談”〔東京管区警察学校〕 一九四九(昭和二四)年六月一日
  - 135 〔国立武蔵療養所の沿革〕 一九五五(昭和三〇)年二月一日
  - 136 〔関東管区警察学校〕学校の沿革、教養対象施設等 〔一九五八(昭和二三)年〕
- 第二節 農地の移動と移転施設
  - 一 農地をめぐる対策
    - 137 陳情書〔国土計画興業株式会社〕 一九四七(昭和二二)年五月三〇日
    - 138 農地委員会議事録〔小平霊園拡張中止への陳情等〕 一九四八(昭和二三)年四月二七日
    - 139 懇談会中の住宅課の希望 一九四八(昭和二三)年五月一日
    - 140 〔小平霊園に関する懇談会〕 一九四八(昭和二三)年五月一九日
    - 141 農地委員会議事録〔軍用地壳渡計画等 抄〕 一九四九(昭和二四)年一月二七日
    - 142 小平霊園概況〔抄〕 〔一九五四(昭和二九)年〕
  - 二 移転施設
    - 〔戦時期、小平に設立された施設〕
      - 143 家畜衛生試験場の沿革 〔一九五一(昭和二六)年〕
      - 144 東京身体障害者職業訓練所 案内書〔抄〕 一九五八(昭和二三)年七月一日
      - 145 財団法人多摩済生院事業概況 一九五三(昭和二八)年三月三日
      - 146 創立当時を顧みて〔小金井カントリー倶楽部〕 一九五七(昭和三二)年二月二五日
      - 147 小金井カントリー倶楽部略史 一九五七(昭和三二)年二月二五日
    - 〔戦後、小平に設立された施設〕
      - 148 肢体不自由児のための多摩緑成会整育園・東京都立光明養護学校多摩分校〔抄〕 〔一九五七(昭和三二)年〕
      - 149 東京都多摩共同作業所概要 一九五八(昭和二三)年九月
      - 150 小川保育園規則 〔一九五八(昭和三三)年〕
- 第三節 小平町の農業と恵泉女子農芸専門学校
  - 一 小平町の農業
    - 151 北多摩郡小平町に於ける農業事情 一九五二(昭和二七)年
    - 152 〔東京都農業試験場の畑作改善宮農試験事業の概要〕 一九五二(昭和二七)年度
    - 153 小平町農業の問題点 一九六〇(昭和三五)年一月
  - 二 恵泉女子農芸専門学校
    - 〔小平への移転〕
      - 154 「農専」小平町に移る 一九四六(昭和二一)年一月二八日



- 180 戦後の国民健康保険の再建 (一九八〇(昭和五五)年)
- 181 昭和二四年、小平町国民健康保険の再建案とその流産 (一九八〇(昭和五五)年)
- 182 昭和三四年 小平町国民健康保険事業実施 (一九八〇(昭和五五)年)
- 183 国民健康保険関係年表 (一九八〇(昭和五五)年)

## 第六章 郊外都市への変貌

### 第二節 市制施行と長期総合計画

#### 一 市制施行

- 184 「市制施行」理由書 一九六二(昭和三七)年三月二二日
- 185 市名および市名選定の理由 一九六二(昭和三七)年三月二二日
- 186 住民感情の動向 一九六二(昭和三七)年三月二二日
- 187 式辞〔小平市長 小川睦郎〕 一九六二(昭和三七)年一〇月一日
- 188 祝辞〔ブリジストンタイヤ株式会社 石橋正二郎〕 一九六二(昭和三七)年一〇月一日
- 一一 小平市長長期総合計画
- 189 「総合計画の策定意義・内容と方法等」 一九七〇(昭和四五)年三月

### 第二節 農業環境の変化

#### 一 小平市農業近代化計画

- 190 小平市農業近代化計画 一九六八(昭和四三)年二月

#### 二 恵泉女学園短期大学園芸生活科の転出

#### 〔変わりゆく小平と学園生活〕

- 191 変わりゆく武蔵野によせて 一九六二(昭和三七)年七月
- 192 「近所の人たちに聞く」恵泉の第一印象 一九六六(昭和四一)年三月

#### 〔神奈川県中郡伊勢原町への転出〕

- 193 「園芸生活科移転の報告」 一九六五(昭和四〇)年七月
- 194 学校の近況〔榆並木の伐採 抄〕 一九六五(昭和四〇)年七月

### 第三節 工場と小平市

#### 一 ブリヂストーンタイヤ東京工場

#### 〔工場の変遷〕

- 195 東京工場雑感 一九六〇(昭和三五)年五月五日
- 196 東京工場の変遷(一) 土地 一九六四(昭和三九)年一月一〇日
- 197 東京工場の変遷(二) 整地 一九六四(昭和三九)年一月一日
- 198 東京工場の変遷(八) 工場建設 一九六五(昭和四〇)年六月二〇日
- 199 東京工場の変遷(終回) 一九六五(昭和四〇)年七月二〇日
- 200 東京工場 魚や草木を通じて対話が生まれる 一九七二(昭和四七)年七月

#### 〔工場と地域〕

- 201 小平第六小学校竣工 寄贈式行わる 一九六一(昭和三六)年二月五日

- 202 第六小学校へプールを寄贈 一九六二(昭和三七)年九月五日
- 203 園児募集のおしらせ 一九七一(昭和四六)年二月一日
- 204 “地域社会あつてのブリヂストン”の認識をもって 一九八一(昭和五六)年三月一日
- 〔工場と従業員〕
- 205 デミング・プランでかけまわる 一九六五(昭和四〇)年二月
- 206 「余暇」を創造しよう 一九七一(昭和四六)年五月
- 207 中堅女子社員訓練スタート 一九七一(昭和四六)年二月一日
- 208 座談会 “余暇を有効に活用しよう” 一九七三(昭和四八)年一月一日
- 〔工場と家族〕
- 209 私の家族 一九六三(昭和三八)年二月
- 210 「やがて生まれてくる子供のためにも」 一九六五(昭和四〇)年七月
- 211 子ぼんのうなパパ 一九六六(昭和四一)年九月
- 212 仲のよいパパとママ 一九六七(昭和四二)年四月
- 〔工場の青年たち〕
- 213 養成工講座を顧みて 一九六四(昭和三九)年一月一日
- 214 東北地区 養成工父兄会 一九六四(昭和三九)年一月一日
- 215 躍進する東京工場を あなたの御子弟友達で！ 一九六四(昭和三九)年一月一日
- 216 お父さん お母さん 元気で働いています 養成工東北父兄会 一九六六(昭和四一)年八月一日
- 217 働く青少年の生活文コンクール〔受賞作品〕 一九六七(昭和四二)年二月九日
- 218 寮生のみなさんへ〔寮自治会基本方針〕 一九七〇(昭和四五)年八月二九日
- 〔科学技術学園工業高校教室〕
- 219 BS初の卒業生 科学技術工高教室 一九六九(昭和四四)年四月
- 一一 日立製作所武蔵工場
- 〔武蔵工場の半導体生産〕
- 220 「むさし」五十号発刊を祝す〔抄〕 一九六三(昭和三八)年二月一日
- 221 みんなで協力 生産増強 一九六三(昭和三八)年五月二二日
- 〔工場と地域〕
- 222 アパートなど建築中 四月頃完成予定 一九五九(昭和三四)年一月一日
- 223 社宅児童遊園地完成 一九六〇(昭和三五)年九月一日
- 〔工場と従業員〕
- 224 新制中学校卒業生採用入社試験 一九五九(昭和三四)年二月一日
- 225 結婚退職が多いよう 一九五九(昭和三四)年三月一日
- 226 将来を考え真剣な努力 技養普通科養成員の感想 一九五九(昭和三四)年七月一日
- 227 雑感〔女性従業員〕 一九六〇(昭和三五)年四月一日
- 228 中卒採用試験実施 附近地出身者約二二五名採用 一九六一(昭和三六)年二月一日
- 229 働きながら美しくなれます チャームサロン二二／九日から開設

一九六三（昭和三八）年十一月二八日

〔技能者養成〕

230 優れた技術者を育成 新発足の工業専門学校 来年一月から

一九五九（昭和三四）年一〇月一日

〔日立武蔵女子高等学園〕

231 働く青少年の生活コンクール 故郷を離れて働く生活 一九六七（昭和四二）年二月一日

232 特集 日立武蔵女子学園 一九六九（昭和四四）年四月一日

〔寮生活〕

233 若葉寮教養講座 寮生は熱心に勉強 一九六〇（昭和三五）年二月一日

234 故郷へお便り第一報 一九六三（昭和三八）年四月一日

235 娘よ、すなおに伸びておくれ 一九六三（昭和三八）年九月一日

〔バレーボール部〕

236 世界をめざす六人制バレーチーム誕生 一九六一（昭和三六）年二月一日

237 初の国際親善試合 一九六四（昭和三九）年十一月一日

第四節 小平市の商工業

一 小平商工会

238 小平商工会設立趣意書 一九六一（昭和三六）年四月一〇日

239 昭和三十六年度事業計画案 一九六一（昭和三六）年四月一〇日

240 〔創立二〇周年を祝して〕 一九八一（昭和五六）年七月一五日

二 商店街

241 小平の商店街雑観 一九七九（昭和五四）年十一月一日

242 商店街だより 花小金井商栄会 一九八〇（昭和五五）年六月一日

243 商店街だより 学園坂商店会 一九八〇（昭和五五）年十一月一日

244 商店街だより 西学園共栄会 一九八一（昭和五六）年一月一日

245 商店街だより 学園一番街商店会 一九八一（昭和五六）年六月一日

三 大型店の進出

246 回顧録〔ダイエーの出店〕 一九七八（昭和五三）年一月一日

247 商店街活動に思う〔ダイエー反対運動は終わった〕 一九八〇（昭和五五）年一月一日

四 小売店経営実態調査

248 小売店経営実態調査報告 一九八〇（昭和五五）年一月一日

第五節 小平の交通

一 西武鉄道

249 小川駅昔から現在まで 駅へ畑道一二曲り 一九六〇（昭和三五）年七月一五日

250 小平駅 現況と運輸量 乗客一四年間で三・三倍 一九六〇（昭和三五）年七月一五日

251 一橋学園駅 堤会長が開発の学園町も 一九七一（昭和四六）年二月一日

252 小平駅 駅周辺に石材店が二九店 一九七一（昭和四六）年三月一〇日

二 西武バス

- 253 申請事由書〔久米川駅～武蔵小金井駅路線 抄〕 一九五九（昭和三四）年三月一二日
- 254 聴聞に於ける公述概要書〔久米川駅～小平学園駅～武蔵小金井駅路線等 抄〕 一九五九（昭和三四）年七月
- 255 久米川駅～小平学園駅～武蔵小金井駅間免許促進陳情書 一九六〇（昭和三五）年七月

## 第六節 小平市の医療・福祉

### 一 小平市医師会

- 256 医師会の現状について 一九七五（昭和五〇）年五月
- 257 小平市ねたきり老人訪問医療事業（第一報） 一九七五（昭和五〇）年五月
- 258 公衆衛生部だより② 小平市における定期結核検診現況 一九七七（昭和五二）年六月一日
- 259 公衆衛生活動 昭和五二年の回顧 一九七八（昭和五三）年一月一日

### 二 小平市社会福祉協議会

#### 〔小平市社会福祉協議会の事業〕

- 260 昭和四四年度 事業計画にきまる 組織の強化に重点 一九六九（昭和四四）年四月二〇日
- 261 恒例の老人福祉大会！ 一九七三（昭和四八）年一月一日
- 262 巢立つ年少者を励ます会 一九七五（昭和五〇）年五月二〇日
- 263 盛況をきわめた第三回社協福祉まつり！ 一九七六（昭和五一）年一月一日
- 264 盛会だった身体障害者福祉大会 一九七六（昭和五一）年一月一日

#### 〔福祉施設と団体〕

- 265 福祉関係諸団体内 一九七三（昭和四八）年四月一日
- 266 施設紹介 社協会員施設① 一九八四（昭和五九）年二月二五日
- 267 施設紹介 社協会員施設② 一九八四（昭和五九）年五月三〇日

#### 〔母子・父子家庭の実態と福祉に対する市民の声〕

- 268 これが小平市の母子・父子家庭の実態 一九七七（昭和五二）年八月二〇日
- 269 福祉ということばから（市民の声） 一九七九（昭和五四）年八月二〇日
- 270 障害をのりこえて!! 一九八〇（昭和五五）年五月二〇日

### 三 小平市民生・児童委員協議会

- 271 福祉事務所一〇年の歩みと民生委員活動について 一九七二（昭和四七）年九月一日
- 272 民生委員活動の中から 一九七二（昭和四七）年九月一日
- 273 母子児童専門委員として 一九七九（昭和五四）年三月
- 274 小平民協の主な活動実績 一九七九（昭和五四）年三月
- 275 障害者福祉都市推進事業について 一九八〇（昭和五五）年三月

### 四 あさやけ作業所

#### 〔あさやけ作業所の活動〕

- 276 あさやけだより新装号 発行にあたっての決意 一九七六（昭和五一）年一月一日
- 277 第四回めざす会バザール 一二〇万円の純益！ 一九七六（昭和五一）年一月一日

278	五十一年度決算報告	一九七七（昭和五二）年四月一五日
279	新しい出発	一九七八（昭和五三）年三月二〇日
280	お祝いの言葉「社会福祉法人認可」	一九七八（昭和五三）年三月二〇日
281	あさやけ第二作業所のあゆみ	一九七九（昭和五四）年九月二〇日
282	ありがとうコンサート ぼくらは働けるのさ	一九八〇（昭和五五）年九月二〇日
283	大盛況だったあさやけ大バザール	一九八〇（昭和五五）年一〇月二〇日
	〔あさやけ作業所を支える人たち〕	
284	第二回 あさやけを支える人たち	一九八〇（昭和五五）年二月二〇日
285	第三回 あさやけを支える人たち	一九八〇（昭和五五）年三月二〇日
286	第八回 あさやけを支える人たち	一九八〇（昭和五五）年一月二〇日
	〔障がい児学校卒業生の進路〕	
287	期待される民間作業所	一九八〇（昭和五五）年一〇月二〇日
	〔小川駅のエレベーター〕	
288	小川駅のエレベーターによせる想い	一九八四（昭和五九）年十二月二〇日
	第七節 小平市の地域意識	
	一 小平郷土研究会	
289	小平郷土研究会会則	一九六二（昭和三七）年五月一日
290	創刊の辞（会長・小川愛次郎）	一九六二（昭和三七）年五月一日
291	発刊を祝して（顧問・木村礎）	一九六二（昭和三七）年五月一日
	二 小平市玉川上水を守る会	
	〔守る会の会報〕	
292	『小平市玉川上水を守る会』会報』第〇号	一九七四（昭和四九）年九月一五日
	〔活動とあゆみ〕	
293	会の歩み 守る会の実績報告（一九七四年）	一九七五（昭和五〇）年二月一日
	〔会員の声〕	
294	玉川上水を覗いて	一九七六（昭和五一）年二月五日
	〔地域の人びとの意識〕	
295	学園特集	一九八一（昭和五六）年一月二五日
296	文化祭活動 玉川上水を歩き・撮り・聞き・考える都立国分寺高校三年有志	一九八四（昭和五九）年一月三一日
	三 清瀬高等学校の地域調査報告書	
297	養護施設を訪ねて	一九九一（平成三）年三月